

( 尚書一室より西史 )

◎四、道業組合同並全國總聯合の事 ( 本誌譯出 )

( 國語譯 ) 時重並同聯合の事

( 日語譯 ) 時重並同聯合の事

( 工部局 ) 時重並同聯合の事

( 工部局 ) 時重並同聯合の事

尚書

三、工部局の事 ( 本誌譯出 )

( 國語譯 ) 時重並同聯合の事

( 工部局 ) 時重並同聯合の事

( 工部局 ) 時重並同聯合の事

尚書

二、工部局の事 ( 本誌譯出 )

本組合大會は資本家階級の新陣容を見、彼等は例へば「紡績聯合」「金  
に鑑み産業別合同及全國的總聯合を急速に發展せしめんこと」を  
期す

此由 資本家階級の新陣容を見、彼等は例へば「紡績聯合」「金  
屬同業會」と又「商業會社所」「實業俱樂部」等に完全に産  
業別的に全國的に團結してゐる一方彼等の後立なる政府と其  
味は労働階級の彈壓の刃を研いて居る斯かる際無産階級陣營は  
依然として小組合に四分五裂して甚だしく戰鬥力を缺いた状態  
にある資本の組織的攻勢は今や各産業にわたり全國的に暴威を  
振つてゐる此形勢に刺激され全無産大衆は均しく産業別合同全  
國的總聯合を切望してゐる過日の全國労働組合會協同會は此  
の形勢に即して開かれたものである然るに一部日和見主義幹部  
は此の無産大衆の要求を裏切り支配階級の分裂政策に野合し  
て此の總聯合の機會を踏みにじつたのである然しながら現時成